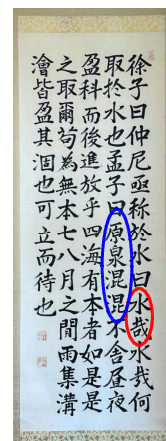


9月21日(水) 校長講話 「149歳の長小学校」

今年の11月20日に、149歳になります。誰のことだかわかりますか？ そうです。皆さんの通う、長小学校です。

長小学校が生まれたのは、今から149年前の明治6年(西暦1873年)11月20日です。小学校が最初は「長小学校」という名前ではありませんでした。明治6年、学校ができた時の名前は、「養生学校」と言いました。養生学校という名前には、「正しい心を養ってほしい」という地域の人々の願いが込められています。翌年の明治7年4月、学校の名前を成始学校と変えました。成始学校という名前は、「始めの志を成し遂げてほしい」という地域の人々の願いが込められています。同じ年 明治7年12月に学校の名前を水哉(すいさい)学校に変えました。水哉学校という名前は、古代中国の思想家 孟子の言葉から引用されたもので、源泉は混混としてやむことがないから 長小学校がますます充実発展することへの願いが込められています。今でも、長小学校は、この時の地域の願いを脈々と受け継いでいます。



その後、真田学校→真田尋常小学校→長村尋常小学校→長村尋常高等小学校→長村国民学校と名前が変わり昭和22年、現在の「長小学校」という名前になったのです。

ここからは、校長室に保管してある昔の写真を紹介していきます。



左上の写真は、今から120年前、明治35年 長村尋常高等小学校の第1回卒業生の集合写真です。校長室にある写真の中で最も古い写真になります。着ているものが今とはだいぶ違いますね。中上の写真は、今から約120年前、大正13年の卒業生の集合写真です。卒業生が100人近く写っています。右上の写真を見ると、このころ、とても多くの子どもたちが学校に通っていたことがわかります。

ここからは、今の校舎になる前 長小学校の旧校舎を紹介します。



左上の写真の赤い丸は、学校前の信号機と横断歩道です。校舎のある場所が今とは全然違ってきますね。中上の写真は、南校舎です。今は校庭の一部になっています。右上の写真は、校庭から東側（現在のプール側）を見た写真です。公民館のすぐそばには、二宮金次郎像や開校百年の碑が設置されていました。



左上の写真は、新校舎建設前の旧校舎の写真です。昭和55年から、新校舎の建設が始まりました。まずは、公民館、公仕室、宿直室を取り壊し、校舎の建設が始まりました。右上の写真は、新しい校舎ができた時の写真です。まだ、南校舎や中校舎、体育館などが残っています。



上の2枚の写真は、新しい長小学校が完成した時の写真です。体育館やプールが新しくつくられています。南校舎が取り壊され、校庭となっていることがわかります。

長小学校が生まれてから、149年。今の校舎になってから41年が経ちました。その間にとても多くの皆さんが、学び、遊び、そして卒業していきました。

今、長小学校に通っている皆さん、今までの伝統や地域の皆さんの願いを大切にしながら、新たな長小学校の1ページを開いていきましょう。